

佐賀県高等学校

P T A 新聞

明治維新150年・全国大会の開催

会長 伊 東 猛 彦



明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、新たな光明を見出すべく決意に満ち溢れられていることとお慶び申し上げます。

突然発生する災害に、私たちはどう向き合っていくべきでしょうか。昨年の震度7の熊本地震は、家屋や公共機関などに甚大な被害を与えて、多くの尊い命と熊本の皆さまの穏やかな暮らしを奪ってしまいました。

そういう中であって、佐賀県出身で熊本県内の大学に通う学生らが、学生団体佐賀を組織し、熊本地震の義援金をツイッターや街頭で呼び掛けてくれました。多くの友達が今も困っていると、支援を思い立ち行動してくれました。若い力が、進むべき道標を示してくれます。

昨年のリオデジャネイロ五輪で、日本が獲得したメダル数は、史上最多の41個となり、選手たちの頑張りに感動しました。私は、特に卓球男子シングルスで銅メダルを獲得した水谷隼選手

に、心を揺り動かされました。水谷選手には、卓球を愛し、この競技の未来を切り開くための使命と情熱を感じます。その視線の先には、将来の日本の子どもたちのためにという、新たな光明を見出すことが出来ます。

全国大会を佐賀の地で開催する平成30年は、明治維新150年という佐賀にとって記念すべき年です。子どもたちが青雲の志を持ち、西欧諸国の思想や先端技術を取り入れ明治日本を創った志士たちのように、時代をリードしてくれることを願っています。私はこの大会において、子どもたちを支える学校・家庭・地域・社会にとつての、新たな光明を見出していききたいと思っています。

第4次産業革命とも言われる人工知能やロボット技術の発展によって、社会が大きく変容しています。こういう時代だからこそ、子どもたちに人を慈しむ心を大切にして、希望の明日をつくって欲しいと願っています。今年の8月には、全国大会開催の一年前というカウントダウンを迎えます。会員の皆さまの一層のご支援とご協力を心からお願ひし、本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

平成30年度（2018年）第68回全国高等学校P T A 連合会大会『佐賀大会』

シンボルマーク・ポスター（原画）最優秀賞受賞作品、受賞者

■ シンボルマークの部



有田工業高等学校 3年 杉原 瑠莉 さん
このロゴマークを通して佐賀県のことをたくさんの人に知ってもらおうと思い、「佐賀といえばこれだ!」と思ったものをつめこみました。

日本三大陶磁器の一つ、有田焼の赤絵皿の中に、毎年佐賀で行われるバルーンフェスタのバルーンと、のりで有名な有明海の干潟に住むツツゴロウを描きました。

■ ポスターの部



佐賀女子高等学校 2年 平田 遥香 さん
バルーンとカササギが飛ぶ空を描いて、佐賀ののびのびとした自然を表しました。

平成28年9月20日（火）に選考委員会を開催し、シンボルマークの優秀賞5名とポスターの優秀賞7名を決定しました。またその中から、9月28日（水）の第2回準備委員会において、シンボルマーク・ポスター（原画）の最優秀賞をそれぞれ1名ずつ決定しました。シンボルマークの最優秀賞については、有田工業高等学校3年の杉原瑠莉さんが受賞し、ポスターの最優秀賞については、佐賀女子高等学校2年の平田遥香さんが受賞しました。今後、この2作品を佐賀大会の広報に大いに活用していきたいと考えています。なお、優秀賞の受賞作品、受賞者は第2面に掲載しています。

表彰式

第2回準備委員会終了後、グラウンデはぐれにて表彰式を行いました。集合写真の前列中央が、最優秀賞を受賞した杉原瑠莉さんと平田遥香さんです。今回シンボルマークとポスターを公募したところ、多数の生徒の皆さんから応募がありました。ご協力いただき、ありがとうございました。



お知らせ

来年度の佐高P連「会費」は今年度と同じですが、全国高P連賠償責任補償制度の「掛金」は、400円になります。

○佐高P連事務担当者会議

4月27日（木）14時

「グラウンデはぐれ」

○佐高P連定期総会

6月9日（金）14時

「グラウンデはぐれ」

○九高P連大会

「熊本大会」

6月15日（木）・16日（金）

「熊本県立劇場」ほか

○全国高P連大会静岡大会

8月23日（水）・25日（金）

「小笠山総合運動公園エコパ」ほか

充実した学校生活を送るために

私はこれまで神埼清明高校、伊万里高校で校長を務めてきました。両校では、充実した学校生活を送るために、次の三つのことを生徒たちに繰り返しお願ひしてきました。

一つ目は、「高い目標をもって、努力する」ということです。高校時代は、自分が将来、どのように生きていくか考えなければならぬ時です。自分が将来、どのようなになりたいのか夢をもつことが大切であり、その夢を実現させるために、目標を掲げ、目標達成のために努力することが大切です。目標に向かって努力することで困難に直面しても、それに負けず立ち向かっていく力を養えるでしょう。

二つ目は、「思いやりをもって、行動する」ということです。相手のことを思いやることができ、行動することによって、学校生活をみんなが楽しく過ごすことができ、しかも、何か大きな成果をあげることができるようになります。人は一人では生きていくことはできません。協力していかなくてはなりません。協力していかなくては生きていけないし、協力がなければ事は成し遂げられません。

三つ目は、「爽やかな挨拶と清々しい身だしなみを心掛ける」ということです。このことによって、相手を明るく気持ちにさせます。そして、学級、学年、学校が明るくなります。特に、挨拶はコミュニケーションの入り口です。

これまで以上に変化の激しい社会にしっかりと適応して生きぬくには、これらのことが大切ではないかと思っています。

伊万里高等学校

校長 瀬戸 寛次

養基の精華

今ここに

佐賀県立三養基高等学校

三養基高校では、9月8日（木）から10日（土）の3日間養基祭が行われました。
初日と二日目には文化祭が、最終日には体育祭が行われ、合唱コンクールや応援合戦など白熱した催しが行われました。3



日間とも大いに盛り上がった三養基高校生らしい養基祭でした。三養基高校PTAでは、養基祭を後押しするボランティアカフェを2日目に開催しました。約80名の保護者が参加し、揚げパン、冷凍パイナップル、ジュー

スのセットを販売し、その収益金は生徒会に寄贈されました。



和太鼓部とソングリーディング部は、地元（嬉野市、鹿島市）のイベントや学校行事などで活躍しています。

和太鼓部は平成13年に発足しました。当時は文化祭のみの演奏でしたが、地元のイベントや老人ホームなどから次々と出演の依頼がくるようになり、平成28年度は20回ほどの演奏活

笑顔と元気で地域貢献

嬉野高等学校 和太鼓部 ソングリーディング部

動を行います。演奏が終わって皆さんからの「良かったよ」「また聞きたかよ」という言葉が私たちの力になります。これからも伝統芸能を継承し、さらなる地域貢献を目指して頑張っていきます！



ソングリーディング部は、和太鼓部の活動と同じ時期に発足し、有志のみで活動を始めまし



た。今では、参加希望者も増え、地域イベント、学校行事での活動を続けてきました。今年度はサガン鳥栖ホームゲーム「嬉野DAY」での活動など18回ほどのイベント出演を行います。出演後に、会場の皆さんから大きな拍手をいただいた時が、毎日の練習が報われる瞬間です。今後も地域活性化の一端を担えるように頑張っていきます。

シンボルマークの部



神埼清明高等学校
1年 岡 竜 さん



有田工業高等学校
3年 浦川 紗菜 さん



有田工業高等学校
3年 小寺 海碩 さん



有田工業高等学校
3年 松尾 優花 さん

ポスターの部



致遠館高等学校
2年 牧 日向子 さん



致遠館高等学校
2年 友貞 優香 さん



唐津東高等学校
2年 東嶋 那奈 さん



塩田工業高等学校
2年 堤 拓也 さん



牛津高等学校
2年 増本 萌花 さん



伊万里特別支援学校高等部
2年 濱野 元 さん

平成30年度（2018年）第68回全国高等学校PTA連合会大会「佐賀大会」シンボルマーク・ポスター（原画）優秀賞受賞作品、受賞者